

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日  
東

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所  
 コード番号 6145 URL <http://www.nittoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 磯田 博 (TEL) 048(837)2011  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	15,377	44.4	1,770	214.9	1,793	170.9	1,182	160.7
26年3月期第3四半期	10,651	△23.8	562	△72.7	661	△69.4	453	△67.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,918百万円(80.1%) 26年3月期第3四半期 1,065百万円(△33.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	65.47	—
26年3月期第3四半期	25.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	27,376	19,384	70.6
26年3月期	23,100	17,821	77.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 19,331百万円 26年3月期 17,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
27年3月期	—	14.00	—		
27年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	41.8	2,300	220.8	2,350	183.7	1,500	126.1	83.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) 株式会社コイデエンジニアリング、除外 1社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	18,098,923株	26年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	30,579株	26年3月期	30,426株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	18,068,443株	26年3月期3Q	18,068,658株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業益予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済の動向は、ヨーロッパでは景気の後退懸念、新興各国では総じて減速感はあるものの緩やかな景気上昇、アメリカは上下の波を繰り返しながらの景気回復といった様々な要因に揉まれての緩やかな経済成長が続きました。

当社グループの主力事業である巻線設備に関連する主要なマーケットを概観しますと、自動車分野は、エネルギー効率及び安全性・利便性の向上への取り組みが世界的な方向性となるなか、アメリカの需要回復、新興国での需要増加と相俟って生産は増大傾向を継続しました。特に、ヨーロッパの完成車メーカー、部品メーカーは工場での中国進出に注力しました。また、情報通信分野は、スマートフォンが中国メーカーの新規参入もあって世界的な普及速度が衰えを見せず、情報通信技術の発達、情報需給の増加、様々なソフトの開発とともに自動車、家電、生活用品、ウェアラブル端末、そのほか様々なアイテムとの連携などへと進化し、他方、通信バンド数の増加は電子部品の需要増加につながりました。加えて、民生用機器のみならず産業用機器にあっても電子化、情報通信化が進んだことによってスマートフォン以外でも電子部品の需要は急拡大し、さらなる微細化やモジュール化など電子部品の進化が加速し続けることとなりました。

これら自動車関連、電子部品関連のメーカーやサプライヤーは、高機能化、多機能化、軽薄短小化、微細化といった技術面と、生産面では原価低減、高効率生産、自動化、品質向上などの課題解決をグローバルな領域で競い合うことになりました。そして、その激化はそれらの課題を解決できる高度な生産設備の導入競争につながることとなりました。当社グループでは、これら当社顧客層のニーズの根底にあるウォンツを満足できる高度な生産設備を開発するため、コアテクノロジーの深堀りや進化からの水平展開、また、展開した領域や隣接する領域でのオープンイノベーションの活用などに取り組み、さらに近年、重点課題としてリソースを投入した制御技術・搬送技術の強化を含むFA設備開発の結実、進化も重なって受注、売上げ、利益を大きく伸ばすことができました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は153億77百万円（前年同期比44.4%増）、営業利益は17億70百万円（前年同期比214.9%増）、経常利益は17億93百万円（前年同期比170.9%増）、四半期純利益は11億82百万円（前年同期比160.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (巻線機事業)

全売上高の約94%を占める巻線機事業におきましては、前述の結果、連結売上高は144億26百万円（前年同期比42.0%増）、セグメント利益（営業利益）は21億53百万円（前年同期比135.4%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は154億93百万円（前年同期比56.6%増）、売上高（生産高）は130億66百万円（前年同期比45.8%増）、当第3四半期末の受注残高は90億72百万円（前年同期比59.8%増）となりました。

#### (非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、ICカード関連で大量の増産要請があり、これに向けて生産体制を緊急で増強して対応したため売上高は大幅増、受注高並びに受注残高が急増しました。これらの結果、連結売上高は7億98百万円（前年同期比138.5%増）、セグメント利益（営業利益）は45百万円（前年同期比16.0%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は8億35百万円（前年同期比72.6%増）、売上高（生産高）は7億98百万円（前年同期比138.5%増）、当第3四半期末の受注残高は3億10百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、連結売上高は1億52百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益（営業利益）は1億26百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比40億10百万円増加し、195億12百万円となりました。これは主として、現金及び預金が6億9百万円、受取手形及び売掛金が20億25百万円、仕掛品が10億54百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比2億65百万円増加し、78億64百万円となりました。これは主として、機械装置及び運搬具（純額）が1億20百万円、のれんが67百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比42億76百万円増加し、273億76百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比34億36百万円増加し、75億15百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が17億92百万円、未払法人税等が4億83百万円、「その他」のうち短期預り保証金が5億56百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比7億22百万円減少し、4億76百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が1億77百万円増加したものの、退職給付に係る負債が3億21百万円、「その他」のうち預り保証金5億78百万円を流動負債へ振り替えたため、減少したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比27億13百万円増加し、79億91百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比15億62百万円増加し、193億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年11月4日付で業績予想の修正を行っております。なお、業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式会社コイデエンジニアリングを株式の取得により子会社化したことに伴い、連結子会社しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が2億33百万円減少し、利益剰余金が1億50百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間における営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,611,388	9,220,920
受取手形及び売掛金	3,863,193	5,889,029
有価証券	—	235,170
仕掛品	1,718,156	2,772,772
原材料及び貯蔵品	629,741	691,763
繰延税金資産	131,685	132,874
その他	551,473	575,395
貸倒引当金	△3,999	△5,838
流動資産合計	15,501,640	19,512,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,757,624	2,688,705
機械装置及び運搬具(純額)	421,793	541,995
土地	1,590,665	1,687,203
その他(純額)	209,590	287,884
有形固定資産合計	4,979,672	5,205,789
無形固定資産		
のれん	—	67,852
その他	85,706	77,701
無形固定資産合計	85,706	145,554
投資その他の資産		
投資有価証券	1,909,392	1,825,990
繰延税金資産	968	—
その他	633,651	687,221
貸倒引当金	△10,663	—
投資その他の資産合計	2,533,348	2,513,211
固定資産合計	7,598,727	7,864,555
資産合計	23,100,367	27,376,642

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,895,613	4,688,595
未払法人税等	26,559	510,428
賞与引当金	279,572	226,557
その他	877,165	2,089,505
流動負債合計	4,078,911	7,515,085
固定負債		
繰延税金負債	2,335	179,521
退職給付に係る負債	414,306	92,787
その他	783,102	204,579
固定負債合計	1,199,744	476,888
負債合計	5,278,655	7,991,974
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	7,759,871	8,587,402
自己株式	△23,207	△23,379
株主資本合計	17,163,646	17,991,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215,652	382,582
為替換算調整勘定	464,773	1,013,403
退職給付に係る調整累計額	△64,421	△55,688
その他の包括利益累計額合計	616,004	1,340,297
少数株主持分	42,061	53,364
純資産合計	17,821,712	19,384,667
負債純資産合計	23,100,367	27,376,642



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	10,651,250	15,377,191
売上原価	7,909,408	11,067,559
売上総利益	2,741,842	4,309,631
販売費及び一般管理費	2,179,523	2,538,813
営業利益	562,318	1,770,818
営業外収益		
受取利息	32,230	41,213
受取配当金	26,418	27,156
負ののれん償却額	23,103	—
その他	36,508	37,302
営業外収益合計	118,261	105,672
営業外費用		
為替差損	—	67,283
その他	18,591	15,880
営業外費用合計	18,591	83,164
経常利益	661,988	1,793,326
特別利益		
投資有価証券売却益	50,493	69,670
その他	2,019	452
特別利益合計	52,512	70,122
特別損失		
投資有価証券売却損	—	70,830
その他	986	911
特別損失合計	986	71,741
税金等調整前四半期純利益	713,514	1,791,706
法人税、住民税及び事業税	128,723	570,147
法人税等調整額	127,109	34,499
法人税等合計	255,833	604,646
少数株主損益調整前四半期純利益	457,681	1,187,060
少数株主利益	3,888	4,199
四半期純利益	453,792	1,182,860

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	457,681	1,187,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220,418	166,929
為替換算調整勘定	387,362	555,733
退職給付に係る調整額	—	8,733
その他の包括利益合計	607,781	731,396
四半期包括利益	1,065,462	1,918,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,061,586	1,907,153
少数株主に係る四半期包括利益	3,876	11,302

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	10,161,136	334,728	155,385	10,651,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,161,136	334,728	155,385	10,651,250
セグメント利益	914,700	39,361	111,037	1,065,099

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,065,099
全社費用(注)	△502,780
四半期連結損益計算書の営業利益	562,318

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触 I C タグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	14,426,044	798,327	152,820	15,377,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	14,426,044	798,327	152,820	15,377,191
セグメント利益	2,153,036	45,652	126,931	2,325,619

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,325,619
全社費用(注)	△554,800
四半期連結損益計算書の営業利益	1,770,818

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更による、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。